

5-1 社会福祉の基本的な考え方

社会福祉の理念

R3前問1 R3後問1 R4後問4 R5前問2 R5後問2・12

問 次のうち、日本の社会福祉の基本的な考え方に関する記述として、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- | | | | | | |
|---|---------|---|---|---|---|
| A 社会福祉における自立支援は、障害者福祉の分野ばかりでなく、高齢者福祉、子ども家庭福祉の分野にも共通の理念と考えられている。 | (組み合わせ) | A | B | C | D |
| B 私たち人間の幸福追求について、国が福祉政策によって関与することはない。 | 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| C 「日本国憲法」では、生存権を保障するため、最低限度の生活に関する基準を示している。 | 2 | ○ | × | ○ | × |
| D 社会福祉における相談援助は、福祉サービスを必要とする人と社会資源を結びつける役割を果たす。 | 3 | ○ | × | × | ○ |
| | 4 | × | ○ | ○ | × |
| | 5 | × | × | ○ | ○ |

(R5後問1)

解説

[A] 適切。自立支援とは、障害者、高齢者、子どもなど、援助を必要とする人が身体的・社会的・経済的に自立し、自己決定に基づいて生活が送れるよう支援することをいう。[B] 不適切。日本国憲法第13条は、「…幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。」と定め、第25条第2項において「国は、すべての生活面について、社会福祉、社会保障および公衆衛生の向上および増進に努めなければならない。」としている。[C] 不適切。日本国憲法第25条第1項で、「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。」と定めているが、最低限度の生活に関する基準までは示していない。[D] 適切。社会資源とは、福祉サービス利用者等の問題解決やニーズを満たすために用いる人的・物的資源、制度等の総称であり、フォーマルな社会資源（行政または公的サービスを提供する民間組織によるもの）のほかに、家族、親戚、知人、近隣住民、ボランティア等によるインフォーマルなものもある。【正解】3

ここだけ丸暗記!

| | |
|----------------|--|
| ノーマライゼーション | 障害をかかえる人も高齢者も子どもも、同じ地域社会の中でともに生きるノーマル（普通）な社会を目指そうとする理念。1950年代、デンマークのバンク・ミケルセンが障害者施設の改良運動にかかわる過程で提唱した。現在では社会福祉全般に共通する基本理念となっている |
| ソーシャル・インクルージョン | 孤独死、ホームレス、単親世帯といった社会的孤立の問題に対して、すべての人々を孤独や孤立、排斥などから援護し、社会の一員として認め、支え合おうという理念 |
| ユニバーサルデザイン | 障害をかかえる人だけでなく、すべての人が利用可能なように配慮されたデザイン。アメリカのロナルド・メイスが提唱 |
| エンパワメント | 社会的に抑圧され、パワーが欠如した状態にある人についてその自己決定を尊重し、本来もっている力を引き出すことによって問題の解決につなげていこうという理念 |
| アドボカシー | 「代弁」という意味であり、利用者が障害や認知症あるいは子どもであるために自ら意思表示することが困難な場合に、援助者が代わって権利擁護を求めたり主張したりすること |

ここもCHECK!

- W.H.ベバリッジが1942年に発表した「社会保険及び関連サービス」と題する報告書を「ベバリッジ・レポート」という。この中で、ナショナルミニマム（最低限の生活保障）を国の責任とし、「5つの巨人悪（窮乏・無知・疾病・不潔・怠惰）」を克服するための社会保障制度の整備を勧告している。
- 社会福祉の実践的活動あるいは社会福祉援助技術（→P.127）のことを一般的にソーシャルワークというが、国際ソーシャルワーカー連盟（IFSW）による「ソーシャルワーク専門職のグローバル定義」（2014年）では、「ソーシャルワークは、社会変革と社会開発、社会的結束、および人々のエンパワメントと解放を促進する、実践に基づいた専門職であり学問である」としている。

チャレンジ〇×問題

解答・解説はP.132

- Q1 ソーシャル・インクルージョンとは、国民に対して最低限度の生活を保障すること（最低生活保障）である。
- Q2 社会福祉法人が提供するサービスは、インフォーマルな社会資源である。